

取扱説明書

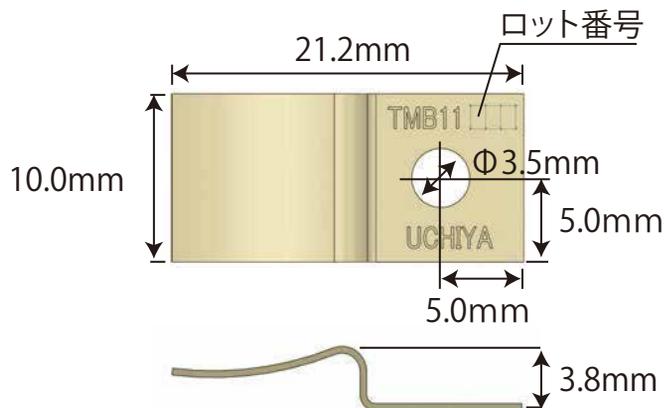
サーモスタット取付クリップ  
(UP6/OP6/JP6 シリーズ専用)



仕様

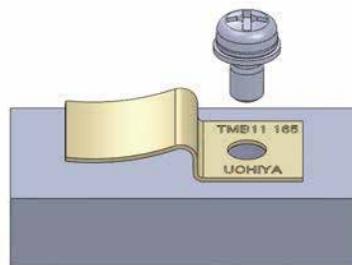
**材料:** TMB11はSUS 304製で、<sup>しん</sup>韌性(粘り強さ)を増すための熱処理を行っています。そのため、表面が淡い黄褐色になっています。

**外形寸法:** 10.0×3.8×21.2 mm  
**板厚:** 0.4 mm  
**重量:** 約0.7 g

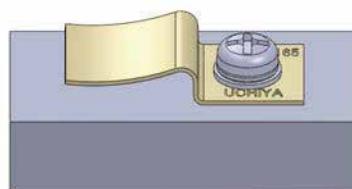


取付方法 (推奨)

1. TMB11とM3ねじ、ばね座金、平座金を、お客様の装置/部品の平らな表面に配置してください。  
(ねじと、ばね座金、平座金は、TMB11に付属しておりません。)

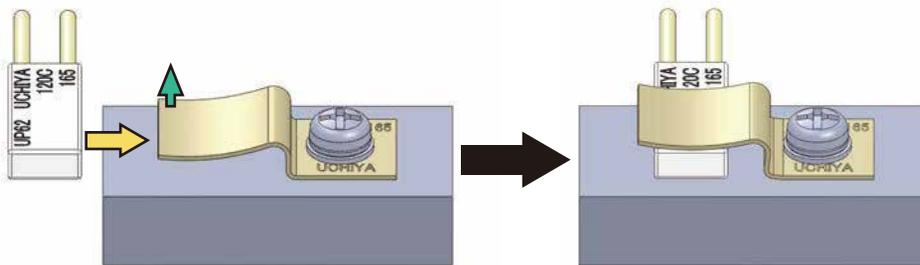


2. ねじをしっかりと締めてください。



3. TMB11の梁を少し上げながら、梁とおお客様の装置/部品の中にサーモスタットを挿入してください。(挿入時、TMB11の梁を必要以上に引き上げないでください。)

(TMB11とサーモスタットの方向と位置は下図に従ってください。サーモスタットのマーキング面を上にして取付けてください。サーモスタットの面を逆さにして取付けないでください。)



4. TMB11とサーモスタットが固定されていることを、ご確認ください。

## 安全上のご注意

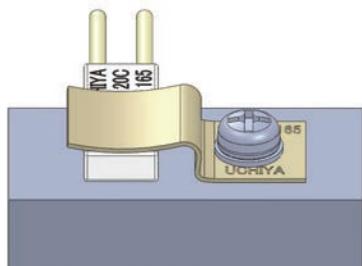
1. サーモスタット取付クリップTMB11をご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読み頂き、いつでも参照できるように大切に保管してください。
2. 誤った取扱いをすると、サーモスタットの機能が損なわれる可能性があります。
3. TMB11は、UP6/OP6/JP6シリーズのサーモスタットを装置/部品に取付けるために設計されています。これらのシリーズ以外のサーモスタットをTMB11で取付けないでください。また、別の用途で使用しないでください。
4. サーモスタットの取付けが完了したら、想定している条件でサーモスタットが適切に動作することをご確認ください。
5. 異常時の過熱温度が190℃を越えないように注意してください。

## 注記

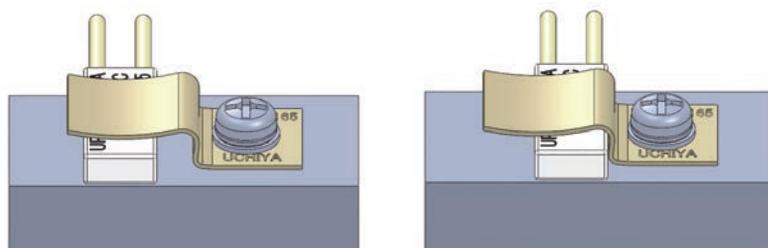
- ・ 高温環境に曝されると、前述の方法で正しく取付けられたサーモスタットでも、ケースの高さが減少する可能性があります。サーモスタットの機能には影響ありません。(180℃で24時間保持すると、ケースの高さが最大で約0.1mm減少する場合があります。)
- ・ 前述の取付方法と異なる方法(取付方向/位置の変更\*)や絶縁スリーブなどを使用して取付ける場合、サーモスタットをTMB11で抑えた後にねじを締める場合は、お客様のテストにて、サーモスタットの機能に影響が無いことをご確認ください。

### \*[ 取付方向/位置の変更 ]

#### 前述の取付方法 (推奨)



#### お客さまによるご確認が必要な取付方法の例



- ・ TMB11とお客様の装置/部品、取付部品(ねじ、ばね座金、平座金)の間に、環境条件によっては腐食が起こる可能性があります。ご用意される取付部品は、腐食が起こらない材料をご選定ください。また、お客様のテストにて腐食の有無をご確認ください。
- ・ 振動環境でご使用になる場合、振動によるねじの緩みやサーモスタットの取付位置のずれが起らずに、サーモスタットが適切に保持されていることをご確認ください。